

令和4年度 行方市立麻生東小学校の教育

県学校教育指導方針

すべての子どもの可能性を
引き出す活力ある学校づくり
茨城県総合計画
「活力があり、県民が日本一幸せな県」

学校教育目標

自らの力で未来を切り拓くことのできる児童の育成

行方市学校教育プラン

新たな価値を創造し
郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成

学校経営の重点

- ① 学習課題の解決に向け、自ら取り組むことのできる児童を育成する。
- ② 他者との関わりを通し、思いやりや人間関係を築く力を育てる。
- ③ 児童活動を積極的に推進し、主体的に活動できる児童を育てる。
- ④ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導と支援体制の充実を図る。

キーワード

共に学ぼう！ 児童・教師、地域を含むすべてが関わりながら学ぶ

目指す児童の姿

- 1 すすんで学び自分の考えをもつ子
- 2 相手のよさを認め、関わりながら学ぶ子
- 3 学びを生活に生かそうとする子

目指す学校の姿

児童が「今日も楽しかった。
明日も元気に登校しよう」と思える学校

学校を動かす3つのプロジェクト

知プロジェクト

目指す子供の姿

☆自ら課題を解決できる子

主な施策と数値目標

- 麻生東小授業スタイルの着実な展開
- T・T、通級指導、教科担任(社会科・音楽科)によるきめ細かな指導
- 家庭学習の習慣化と考えさせる課題による内容の充実
- 児童が自ら課題解決に取り組むための授業研究
- ・見通しをもって授業に取り組む児童 ⇒ 90%
- ・主体的・対話的に活動し、自ら課題解決できる児童 ⇒ 90%
- ・児童自らが課題解決できるよう授業づくりを行った教師 ⇒ 100%

心プロジェクト

目指す子供の姿

☆自分にはよいところがあると胸をはって言える子

主な施策と数値目標

- 児童活動(委員会活動・係活動)の積極的な展開
- 児童のよさを見つけたり気づかせたりするための道徳科や人権教育の推進
- QUテスト(年2回実施)の結果活用による学級経営の充実
- ・自分にはよいところがあると胸をはって言える児童 ⇒ 85%
- ・友達のよいところを見つけたり、認めたりできる児童 ⇒ 85%
- ・QUテスト(学級満足度) ⇒ 校内平均65%

体プロジェクト

目指す子供の姿

☆自分の健康な身体をつくることのできる子

主な施策と数値目標

- 月2回の清潔検査(就寝時間・朝食調べ等)の活用による基本的な生活習慣の確立
- 養護教諭・栄養教諭・各種GTと連携した保健教育・食育の推進
- 体育の授業や業間運動による計画的な体力づくり
- ・就寝時刻 1～3年:午後9時, 4～6年:午後10時 ⇒ 85%
- ・平日朝食摂取率 ⇒ 97%
- ・体力テストA判定+B判定の児童 ⇒ 80%
- ・虫歯未処置者 ⇒ 12%以下

保幼小中連携の推進

- 合同研修会の実施(保幼小・小中)
- 授業や行事の参観、体験活動を通しての相互理解
- 麻生中学区小中一貫教育取組事業計画の確実な実施

地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会(CS)による開かれた学校づくり
- 行方市教育ボランティアの活用
- ホームページ・各種通信による情報発信

安全・安心な学校づくり

- 地域住民と連携した児童の安全確保(麻生東小安全見守り隊・帯同ボランティア)
- 計画的な各種防止教室の実施(マニュアルの改善・確認及び実践)
- 安全点検の確実な実施
- 児童の居場所のある学級づくり(いじめ防止対策等)

教職員一人一人の資質・能力の向上

- 3つの校内プロジェクト(知・心・体)の実施(短期目標とPDCA)
- 授業研究を柱とした校内研修の充実
- コンプライアンス委員会によるボトムアップ研修
- タイムマネジメントを意識した働き方改革 → 45h 以内・90%・70h 越 0 人

